

## 令和8年2月 斐伊川水系水質情報

令和8年2月(宍道湖3日・中海19日採水)							単位:mg/l(Chl-a: μg/l)			
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
COD	全層	4.0	△	平年並み	3.2	△	平年並み	3.5	△	平年並み
全窒素	上層	0.58	×	やや高い	0.41	△	平年並み	0.63	△	平年並み
全リン	上層	0.026	○	良好(平年並み)	0.025	○	良 好	0.036	△	平年並み
Chl-a	上層	21	△	平年並み	14	△	平年並み	14	△	平年並み
塩化物イオン	上層	3,540	△	平年並み	9,000	△	平年並み	8,060	△	平年並み
	下層	3,750	△	平年並み	15,300	△	平年並み	11,200	△	平年並み
溶存酸素	上層	13.5		やや高い	11.8		やや高い	12.0		平年並み
	下層	13.5		やや高い	6.6		平年並み	6.1		平年並み

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
COD	全層	3.4	やや上昇	2.6	上昇	3.5	横ばい
全窒素	上層	0.68	0	0.44	横ばい	0.51	やや上昇
全リン	上層	0.043	やや下降	0.027	横ばい	0.030	横ばい

宍道湖の透明度は1.8mから2.4mと上昇し、良好。中海の透明度は1.9mから1.9mと横ばいで、平年並み。米子湾の透明度は2.3mから1.7mと下降し、平年並みとなっている。

### 【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

#### 1. 水質値について

↑	★	<非常に高い>
↑	☆	<かなり高い>
↑	×	<やや高い>
↑	△	<平年並み>
↑	○	<良好>
↓	◎	<かなり良好>
↓	○	<やや低い> (塩化物イオン)
↓	△	<かなり低い> (塩化物イオン)

平均値+標準偏差値の3倍  
 平均値+標準偏差値の2倍  
 平均値+標準偏差値  
 10年間平均値  
 平均値-標準偏差値  
 平均値-標準偏差値の2倍  
 平均値-標準偏差値の3倍

ただし、環境基準値以下の場合<良好>とする。  
 ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。

#### 2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

注)平均値±標準偏差値 ……全体のおよそ 68.2%

前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化…やや上昇、やや下降、横ばい

平均値±標準偏差値の2倍…全体のおよそ 95.5%

前月値±標準偏差値の1/2以内の変化…横ばい

平均値±標準偏差値の3倍…全体のおよそ 99.7%